

第1章 水道ビジョンの目的

1.1 目 的

海津市の水道普及率は、平成 20 年 3 月末で 96.7%に達しており、給水体制はほぼ整備された状況にあります。

一方、水道事業は維持管理の時代にあり、施設の改良・更新、災害に強い施設整備、水質保全、環境保全、多様化する需要家のニーズに応える施策等、さまざまな課題への対応が求められています。

海津市は、これらの課題に取り組むため、「海津市水道ビジョン」を策定しました。

1.2 背 景

海津市の上水道事業は、平成 17 年 3 月の合併時に旧 3 町(海津郡海津町、平田町、南濃町)の上水道事業をそのまま引き継ぎました。その後、事業の合理化を図るため、平成 21 年 1 月に上水道事業を統合し、海津市上水道事業として一本化しました。また、事業統合の届け出時に給水人口及び給水量を見直し、計画給水人口 39,000 人、計画 1 日最大給水量 19,220 m³としました。

海津市上水道事業は、給水人口及び給水量の減少に伴う料金収入の減少等、水道を取り巻く環境が厳しさを増す中で、さまざまな課題への対応が求められています。

厚生労働省健康局は、平成 16 年 6 月に「水道ビジョン」を作成するよう通達を出し、水道事業者が自ら事業を取巻く環境を総合的に分析した上で経営計画を策定し、それを計画的に実行していくための道程を示しました。

これを受け海津市は、次に示す長期的な政策目標を掲げ「海津市水道ビジョン」を策定することとしました。

- 「安心」：すべての市民が安心しておいしく飲める水道水の供給
- 「安定」：いつでもどこでも安定的に生活用水を確保
- 「維持」：地域特性にあった運営基盤の強化
- 「環境」：環境保全への貢献